



光 和

2月号
練馬区立光和小学校
令和6年1月31日

光和小
携帯サイト



当たり前に感謝

校 長 矢 島 直 行

早いもので令和6年がスタートして 1 か月が過ぎます。寒さの厳しい季節となりましたが、2月4日は「立春」です。暦の上では春が始まります。まだ寒い日がありますが、学校の梅の花も咲き始め春の訪れを感じさせています。

令和6年1月1日、石川県能登半島を中心に大きな地震が発生しました。東京でも揺れを感じ驚かれたのではないのでしょうか。震度7の地震により建物の倒壊や土砂崩れ、津波によって大きな被害がありました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

お正月を家族の方と楽しく過ごしていた時間を地震が突然襲いました。道路が寸断され水道が断水になるなど日常生活に大きな支障がでました。学校で友達と一緒に勉強することが当たり前であった生活が一変しました。日常生活は当たり前のようになり繰り返されると信じていましたが、突然の地震により当たり前であったことが当たり前でなくなりました。学校の校舎は、輪島市をはじめ珠洲市、能登町などの被災地では避難所となっています。そのような中、各自治体では「災害時でも当たり前の教育をしっかりと提供したい」と、中学生が集団避難をしました。家族の方と一緒に残る中学生もいますが、それぞれの家庭では苦渋の判断をされたと思います。一日も早く復旧され家族と一緒に生活することができるとを切に願っております。改めて当たり前の日常生活に感謝するとともに、当たり前であるために備えておかねばなりません。

地震はいつ起こるか分かりません。いざ起こったときに慌てずに自分の身を守ることができるようにするためには、日頃からの訓練が必要となります。学校では月に1回、地震や火災を想定した避難訓練を実施しています。地震が起きたときにいつも教員や大人がいるとは限りません。様々な状況を想定して災害時に自分の安全を第一に考えて行動できるようにしていきたいです。ご家庭でも様々な状況を考えて災害時の避難について話し合っていたらと思います。

練馬区では震度5弱以上の地震が起きた場合、学校に避難拠点が立ち上がります。自宅にいられない方や帰宅困難者が学校に避難します。本年度から本校では教職員による避難拠点が開設されることを想定した訓練を実施しています。しかし、いざという時は避難拠点運営連絡会の方々や教職員だけではなく、保護者をはじめ、地域の皆様の協力が不可欠です。そこで2月10日（土）4校時の学校公開終了後、12時から14時まで避難拠点運営連絡会主催の防災訓練を行います。避難拠点の役割について学ぶとともに、居住スペース、仮設トイレ、バーナー、はしご車、AED、給水、発電機、起震車などを見学や体験ができます。いざという時のために慌てずに避難拠点を開設することができるようにするための訓練です。お子さんと一緒に保護者の皆様も是非参加していただけたらと思います。